

十二

奈良が
ふたりの
故郷になる



幸せづくり、 お結びづくり

菊水楼がここに在り続けるということは、
お客さまの想いと記憶を残し続けるということ。

お客さまがいつ訪れても、結びの時間を鮮やかに
思い出していただけるように。

お客さまが心を結ぶ新たな時をお過ごしいただけるように。

菊水楼は、そう願っています。

大事にしたいのは、伝統と親しみやすさ。
古き良き伝統を守りながらも新しいものを取り入れ、
訪れた人の心を解きほぐし、
くつろいでいただきたいと思うのです。

たとえば、それは温かくて、美味しくて、愛情たっぷりで、
人と人の心をつなぐ〴〵おむすび〴〵のようなもの。

人生の大切な一日を一つ一つ丁寧に結びする気持ちを大事に、
これから先も奈良の人々だけではなく、
より多くの人の心をつないでいきたいと思っています。

菊水楼の「十二」は、心の宝物をつくる素敵な旅のプランです。

じゅうに

「十二」はふたりの永遠になる。

奈良がふたりの故郷になる。

日本のはじまりの地、そして祝言発祥の地。

奈良には古からの日本の心があり、

その心を菊水楼は長い時間をかけて丁寧に紡いできました。

そんな奈良でおふたりが過ごす特別な時間を、

菊水楼は「十二」という旅のプランに込めたいと思うのです。

十二という数字は、人の人生にとって特別なもの。

十二進法の時間表示、黄道十二星座、干支の十二支など。

おふたりが重ねる時間を、記憶に深く濃く永遠に残るものになりたい。

そんな願いを込めて、私たちは、

この夢の旅に「十二」という名前を付けました。

大和の風趣を味わう華やいだ時は記憶の中でずっと煌めき続ける。

そして、やがて奈良はおふたりの故郷になってゆく。

それはかつて日本の中心であった奈良だからこそ、

日本の原風景ともいえる美しい奈良だからこそだと思うのです。

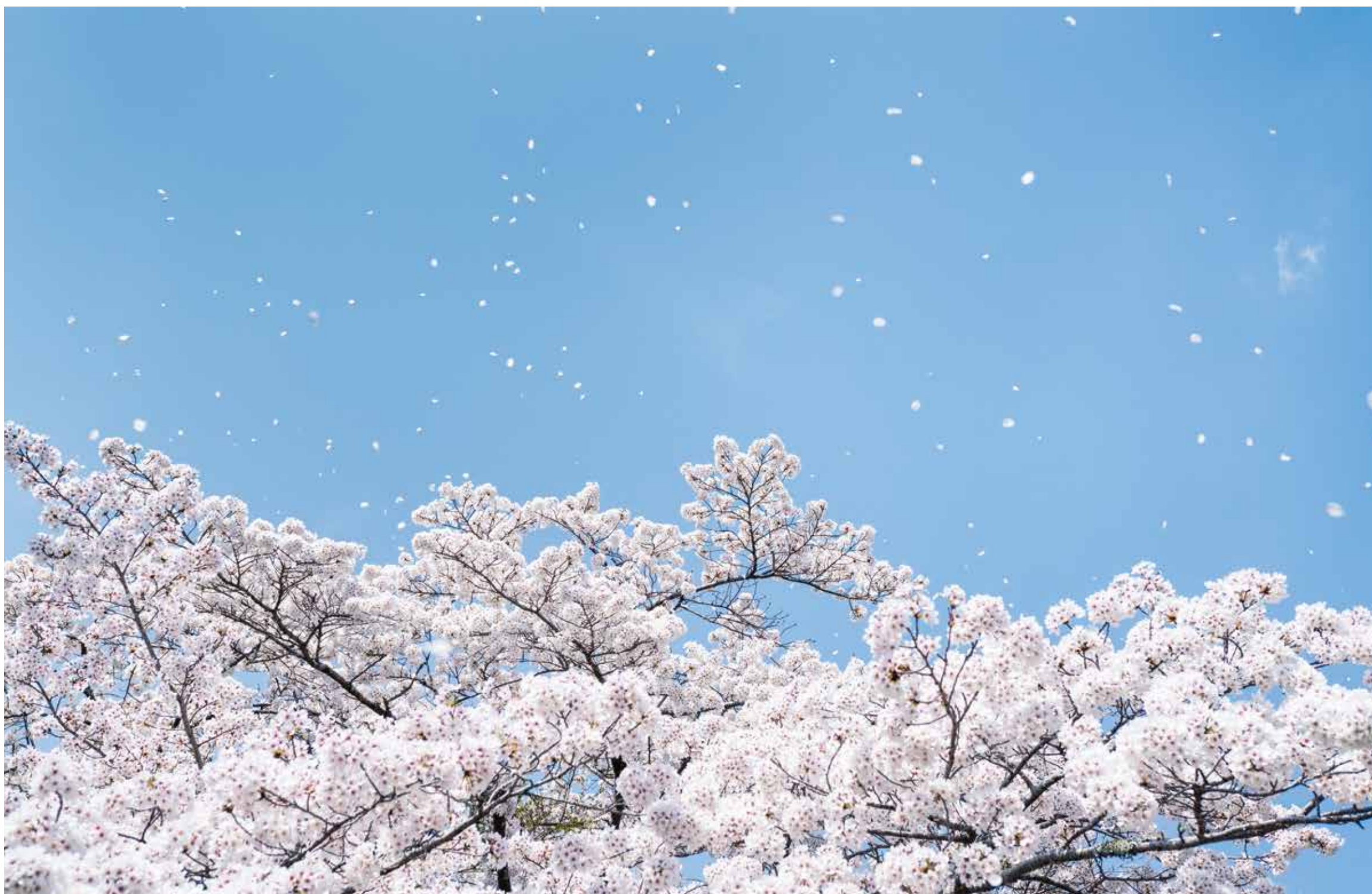
どうぞ、おふたりの新しい故郷へ。

おかえりなさい。

そして、行ってらっしゃい。







一生に一度の夢の旅。 人生を彩る「十二」の体験。

奈良は、あるがままの自然が美しい。

洗練された美よりも、あるがまま、そのままの美の姿がある。

その美しさが心の真ん中にずっと馴染むように感じられる、それは、この上なく贅沢なことだと思うのです。

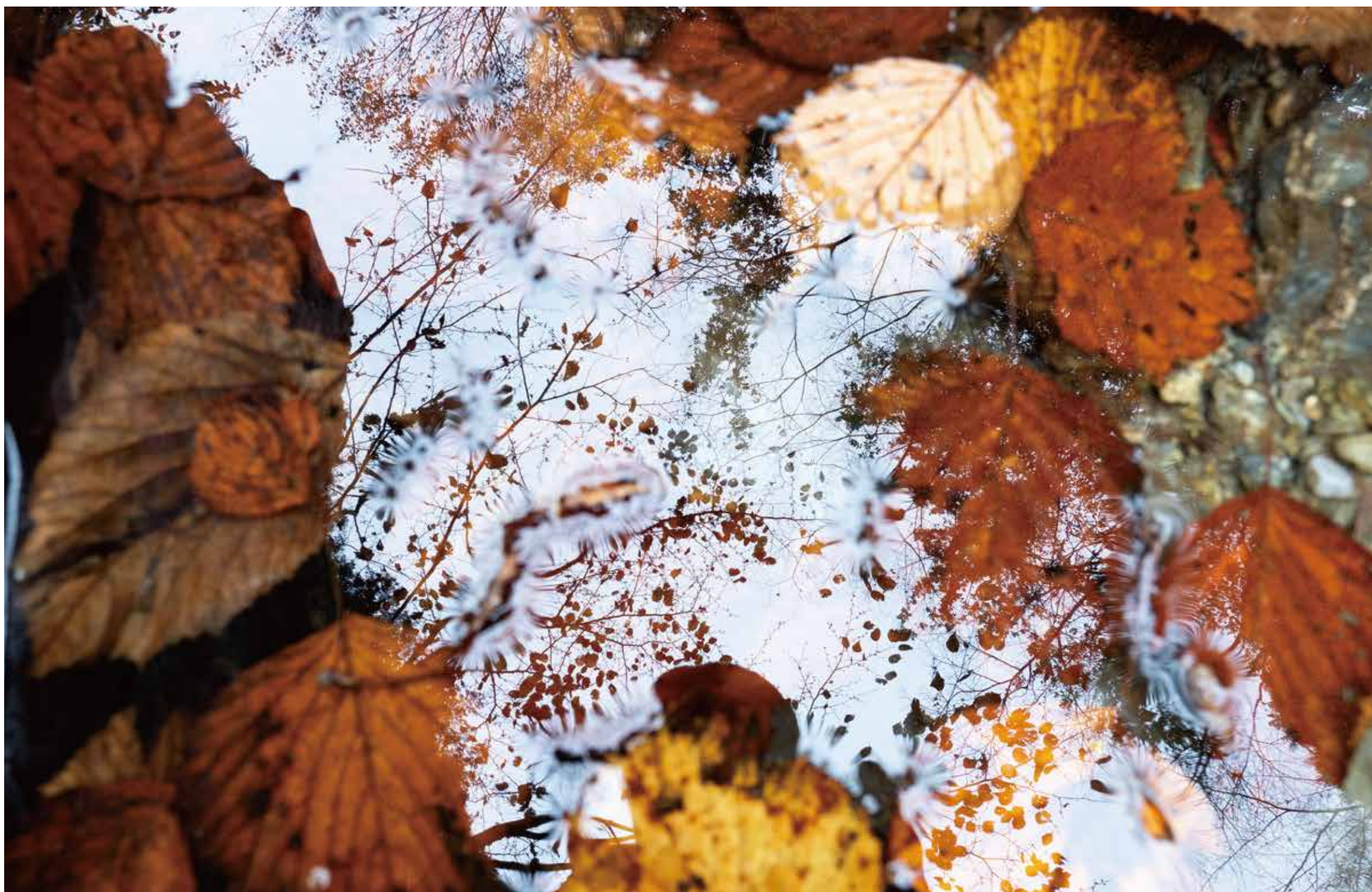
菊水楼が「十二」で体感していただきたいのは、
何もないことすら贅沢に感じることができる、
そんなまっさらな幸せな時間です。

「十二」では、おふたりの一生の記憶に残るような
十二個の素敵な体験をご用意しています。

奈良の文化や自然と触れ合う心華やぐ時間。
地元の人々との交流を通じた心温まる時間。
あるときは笑い合い、あるときは語り合い、
またあるときは、ともに空を見上げ、静寂に浸る。

それはきつとおふたりの記憶に永遠に残り続ける体験。

奈良の十二の素敵な物語を「十二」から贈ります。





「十二」の幸福な時を、

あしたな

「明日棚」から未来へ綴る。

この「十二」の旅の途中では、さまざまなシーンで印象的な漢字たちを目にすることがあると思います。

「愛」「暮」「米」「星」「桜」など、

それは菊水楼にある明日棚に由来するものです。

明日棚は菊水楼が考えたタイムマシーンで、

一つの机、一枚の便箋、一本の筆、一台の棚、そして一三二個の箱、小さな部屋に置かれた道具たちのこと。

明日棚にある便箋には、訪れた人が自分自身の気持ちや言葉を、手書きの文字で綴ることができます。

遠方まで足を延ばして訪れた街の穏やかな時間。

心に温もりを与えてくれた地域の人たちとの交流。

ゆつくりと滞在しながら心を通わせたふたりだけの出来事。

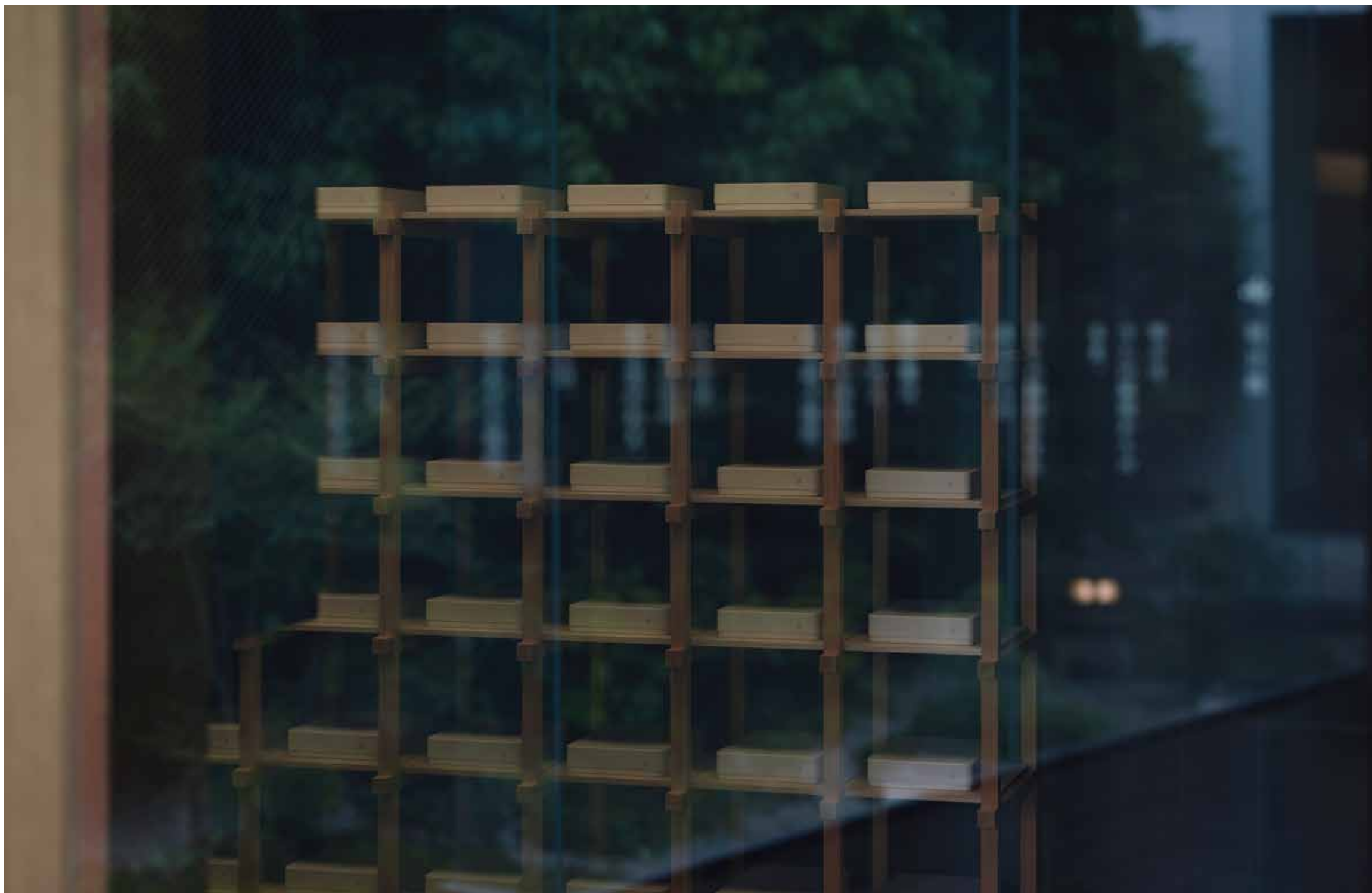
「十二」で過ごした大切な時間や、

その愛が溢れる記憶や思い出を、

明日棚の机で手紙にしたためてみれば、

その言葉は時空を旅した未来で

微笑むおふたりの心にいつかきつと届くはずです。



大和の言葉が記された

一三二の箱に、

時空を旅する言葉を。

明日棚には、一三二の箱があり、

箱には大和言葉につながる漢字が一文字ずつ記されています。
その一文字一文字には言霊が宿っています。

明日棚は心の声を言葉に託して手紙を綴る場所。

漢字が記された箱を選び、心と向き合い、手紙をしたためる。
おふたりの気持ちを、おふたりの言葉で、おふたりの文字で。

「十二」の旅路で、

今の心を、未来や過去の心と結ぶ。

これもまたひとつの「非日常」を味わう体験です。

「非日常」だからこそ、素直な気持ちに出会えることもある。
文化も会話も食事もおふたりで一つひとつのことを楽しむ
「十二」の旅だからこそ、お互いの新しい発見もある。

「十二」の旅でのおふたりの体験や思いを、
ぜひ、この明日棚で手紙にしたためてみてほしいのです。
そしてまたいつか、人生の旅の途中に明日棚を訪れて、
その心を綴ったその便箋を、そっと開いてみてください。

「十二」で、いい旅を。

株式会社菊水楼

六三〇八三〇一

奈良県奈良市高畑町一三〇

電話番号

〇七四二・二三・二〇〇二

開館時間

平日 十二時～十八時

土日祝日 九時～十八時

火・水曜日定休